

【知識及び技能】	我が国の形成の歴史的過程については、世界的視野に立つて、我が国を取り巻く国際環境（世界の歴史）との関連で理解させ、また世界の形成の歴史的過程については、諸地域の歴史と生活・交流・結合の歴史を通して大きな流れを理解させる。
【思考力、判断力、表現力等】	世界の人々の生活・文化に関する地域的特色と共通の課題、自然環境及び社会環境の関連、諸地域相互の関連を理解させ、これらを通して地理的な見方や考え方を培おうとする。
【学びに向かう力、人間性等】	自らが国際社会の中で価値ある国家・社会を形成して自責任を自覚し行動し、その形成に主体的にかかわる存在であること。また国際的な相互依存が進む中で、自らが国際社会の形成者として、自らによって立つ平和で民主的な国家・社会を維持・発展させることについての日本国民としての必要な自覚と資質を養う。

科目	地理総合	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	【学びに向かう力、人間性等】	
日本と世界について、環境と異文化への理解やそこで生活している人々の多様性と課題について理解し、理解に必要な地図を中心とした地理的な技能を習得する	地理的な見方や考え方、地図やGISの活用を始め地理的な情報を処理する能力を養う	地理的な知識や技能の習得を通して、地域の課題や日本と世界の課題解決に向けて自らの手で考察し、解決しようとする姿勢を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章地図と地理情報システム 【知識及び技能】 地球上の位置を緯度と経度で表わせる 【思考力、判断力、表現力等】 地球上の位置の違いと私たちの生活への影響を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 【学びに向かう力、人間性等】 地図と地理情報システム、役割と種類を理解し、どのように役立つか利用しようと努める	第1部地図でとらえる世界 第1章地図と地理情報システム 1 地球上の位置と時差 2 地図の役割と種類	【知識・技能】 緯度経度を用いて、世界の位置を表現できる 【思考・判断・表現】 地球上の位置が我々の生活とどのように影響しているか考えられる 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報を使って、よりよい社会実現に活かす方法を導き出せる	○	○	○	4
	第2章結びつきを強める現代世界 【知識及び技能】 世界の国家と領域のルールを知り、地図上で確認できる 【思考力、判断力、表現力等】 国家と領域が国際関係の中でどのような課題をもっているか考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する世界の課題と身近な生活の問題との関係から必要な行動をとれる	第2章結びつきを強める現代世界 1 現代世界の国家と領域 2 グローバル化する世界	【知識・技能】 世界の地域構成と日本の位置、位置の地理的な特色を理解できる 【思考・判断・表現】 世界の国家や地域の地理的課題と世界における位置との関りを考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い社会実現に必要な視点で、現代世界の構造をとらえ、主体的に追求解決しようとする	○	○	○	4
	第1章国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人の生活の特色や文化と、千紮的環境の影響と多様性を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 世界の文化の多様性について、主題を設定し、多様性や変容の要因を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現に向けて視野を広げ、課題を主体的に追求できる	第2部国際理解と国際協力 第1章生活文化の多様性と国際理解 (1) 地形と人々の生活	【知識・技能】 世界の人の生活の特色ある生活や多様性と、地理的環境と関係を理解できている 【思考・判断・表現】 世界の人の多様な生活や文化と地域的な変容について、自然や社会条件の変化との関連で要因を考えられる 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会実現のために課題を主体的に追求、解決しようとしている	○	○	○	5
	第1章国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の多様性や文化と宗教的つながりや社会的な条件との関りを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 気候環境と民族や、文化の多様性や同質性にどのように関わっているか、考えて現代世界を分析できる 【学びに向かう力、人間性等】 世界の民族問題と国際的な課題について、公平な立場で解決の方法を主体的に考えようとする	(2) 気候と人々の生活 (3) 言語・宗教と人々の生活	【知識・技能】 世界の人の生活の特色ある生活や多様性と、地理的環境と関係を理解できている 【思考・判断・表現】 世界の人の多様な生活や文化と地域的な変容について、自然や社会条件の変化との関連で要因を考えられる 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会実現のために課題を主体的に追求、解決しようとしている	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
2 学 期	第1章国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の多様性と同質性に歴史的な背景が関わっていることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 産業の発達段階と地域の発展や同質性、人々の生活絵の影響との関係を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 植民地支配の影響がもたらしている現代の地域的な課題について解決方法を探究する姿勢	(4) 歴史的背景と人々の生活 (5) 世界の産業と人々の生活	【知識・技能】 世界の人の生活の特色ある生活や多様性と、地理的環境と関係を理解できている 【思考・判断・表現】 世界の人の多様な生活や文化と地域的な変容について、自然や社会条件の変化との関連で要因を考えられる 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会実現のために課題を主体的に追求、解決しようとしている	○	○	○	13
	第2章地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題に共通する傾向性や課題相互の関連の大観を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題と地域の結びつき、持続可能な社会実現への方法を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題解決と国際協力についてよりよい社会実現を視野に主体的に行動を変容できる	第2章地球的課題と国際協力 (1) 複雑に絡み合う地球的課題 (2) 地球環境問題 (3) 資源エネルギー問題 (4) 人口問題 (5) 食料問題 (6) 都市・居住問題	【知識・技能】 地球的な課題に共通する傾向性や課題相互の関連性について大観を理解している 【思考・判断・表現】 地球的課題と地域的な結びつき、持続可能な社会づくりに着目し、多面的に考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い社会と世界の実現に向けて、課題を主体的に解決しようと追及できる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		
	第1章自然環境と防災 【知識及び技能】 我が国と世界に見られる自然災害やその影響について、また防災に関する重要性を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災的な取り組みや地図などの地理的情報を生かせる技能を高める 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害についてよりよい社会と世界の実現に必要な課題解決を主体的に解決しようとする態度を養う	第3部持続可能な地域づくりと私たち 第1章自然環境と防災 (1) 日本の自然環境 (2) 地震と津波と防災 (3) 火山災害と防災 (4) 気象災害と防災 (5) 自然災害への備え	【知識・技能】 日本と世界の自然災害について、地域的特性と災害対策への備えや対応との関りと重要性を理解できる 【思考・判断・表現】 地域的特性を踏まえた防災について、多面的多角的に考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い社会実現に向けて課題を主体的に設定し、解決、追求しようとしている	○	○	○	7
3 学 期	第2章生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題解決に向けた取り組みや探究する手法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な地域づくりに向けて主題を設定し、解決に必要な取り組みを多面から考えられる 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会実現を視野に、身近な課題を主体的に追求、解決しようとする姿勢を養う	第2章生活圏の調査と地域の展望 (1) 生活圏の調査と地域の展望	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題を解決する取り組みや方法を理解できている 【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、多面的多角的な解決法や対策を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査を通じ、父祖の展望についてよりよい社会の実現に向けて主体的に解決しようとしている	○	○	○	4
	定期考査			○	○		
							合計
							70

令和 7 年度

年間授業計画

東京都立 小川 高等学校

教科名	地理・歴史科		科目分類	必修選択
科目名	日本史探究		単位数	3 単位
学年	2 学年	担当者	渡邊 浩	

教科書 使用副教材	詳説日本史(山川出版社)、 新詳日本史(浜島書店)
--------------	------------------------------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 18	・先史社会の生活と文化 ・歴史資料と先史・古代の展望 ・中世社会の展開	・旧石器時代から飛鳥時代までの社会の変化を理解する。 ・大陸文化の影響、習俗の推移など人々の生活について理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査、口頭テスト 【技】授業中の問題
	5				
	6	期末 18	・中世社会の成立 ・歴史資料と中世の展望	・貴族社会、武家社会それぞれの違いを理解する。 ・古代から中世にかけての国家の展開と各時代の文化の特色について理解する。 ・地方の動向や国際関係の変化を理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査、口頭テスト 【技】授業中の問題
	7				
二学期	9	中間 21	・近世社会の形成 ・歴史資料の近世の展望 ・近世社会の展開	・織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会や文化の動向について理解する。 ・国際関係の変化とその影響を理解する。 ・産業の発展について理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査、口頭テスト 【技】授業中の問題
	10				
	11	期末 18	・近代社会の幕開け ・歴史資料の近現代の展望 ・近代社会の展開	・欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想及び産業の新たな展開について理解する。 ・条約改正・日清戦争から第二次世界大戦までの諸外国との関係の推移を理解する。 ・我が国の立憲国家としての展開について理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査、口頭テスト 【技】授業中の問題
	12				
三学期	1	学年末 30	・現代の日本の課題の探究	・第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について理解する。 ・日本の文化や課題について理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査、口頭テスト 【技】授業中の問題
	2				
	3				

令和 7 年度

年間授業計画

東京都立 小川 高等学校

教科名	地理歴史科		科目分類	自由選択
科目名	日本史演習		単位数	6 単位
学年	3学年	担当者	山中章裕	
教科書 使用副教材	詳説日本史(山川出版社)、新詳日本史(浜島書店)			

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 36	・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族と国風文化	・旧石器時代から飛鳥時代までの社会の変化を理解する。 ・大陸文化の影響、習俗の推移など人々の生活について理解する。 ・貴族社会の特質を理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	5				
	6	期末 36	・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・幕藩体制の確立	・院政・平氏政権・鎌倉幕府・室町幕府それぞれの違いを理解する。 ・古代から中世にかけての国家の展開と各時代の文化の特色について理解する。 ・地方の動向や国際関係の変化を理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
二学期	7				
	9	中間 42	・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺 ・近代国家の成立 ・二つの世界大戦とアジア	・幕藩体制の特色と推移、社会や文化の動向について理解する。 ・産業の発展について理解する。 ・倒幕への過程と維新政府の政策を理解する。 ・日露戦争から第二次世界大戦までの諸外国との関係の推移を理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	10				
三学期	11	期末 36	・占領下の日本 ・高度成長の時代	・我が国の立憲国家としての展開について理解する。 ・日本経済と国際経済とのかかわりを理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	12				
三学期	1	学年末 4	・激動する世界と日本	・第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について理解する。 ・日本の文化や課題について理解する。	【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	2				
	3				

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習
教科 地理歴史 3 学年 1 組～ 2 組 , 4 組 ～ 8 組
対象学年組：第 (1～2, 4～8組：早田)
教科担当者：

地理歴史 科目 世界史演習
単位数： 6 単位

使用教科書： (詳説世界史 (山川出版社) アカデミア世界史 (浜島書店))
教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う

科目	世界史演習	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・西欧において近世へと移り変わっていった流れと、その契機について理解している。 ・ヨーロッパにおける主権国家について、中世の国と比較しながら、その特徴について理解している。 ・主権国家体制が、各国でどのように形成していったかについて理解している。 ・ドイツ地域において、統一国家が成立しなかった原因について、考察し表現している。 ・近世ヨーロッパにおける科学革命と啓蒙思想について、政治史とのかかわりも踏まえながら理解している。 ・産業革命と環大西洋革命が、世界にどのような影響を与えたかについて考察し表現している	・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
	・ウィーン体制の特徴について、理解している ・ウィーン体制下の、各国の動向について理解している。 ・各国におけるナショナリズムの動きについて理解している。 ・混沌とした国際社会における、各国のわらについて、その動向などから考察し表現している ・世界が一体化していく中で、アジア世界がどのように変容していったかについて理解している。 ・列強諸国とアジア諸国とのかかわりについて理解している	・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動向 ・第一次世界大戦と世界の変容	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
	・帝国主義の特徴とその本質について、理解している。 ・列強による世界分割がなぜ進んだかについて、考察し表現している ・列強体制がどのようにして二分化していったかについて理解し、それが世界にどのような影響を与えたかについて考察し表現している ・アジア諸国における民族運動について、それぞれの特徴を理解している ・第一次世界大戦がなぜ起こったかについて考察し表現している ・第一次世界大戦の大きな流れについて理解している	・帝国主義とアジアの民族運動 ・第一次世界大戦と世界の変容	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
	・第一次世界大戦後の世界がどのように変容していったかについて理解している ・世界恐慌が世がいかにどのような影響を与えたかについて考察し表現している ・第二次世界大戦の大きな流れについて理解している。 ・戦後世界がどのようにして形成したかについて理解している	・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
	・冷戦の大きな流れについて理解している。 ・冷戦の中で形成された第三世界について、その成り立ちと特徴について理解している。 ・冷戦がどのようにして終結したかについて理解している。 ・今日の世界がどのようにして形作られたかについて理解するとともに、今後の世界をよりよくしていくため、世界の課題を主体的に探究しようとしている。	・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
2 学期	・国ごとの歴史をそれぞれ確認することで、タテのつながりがバラバラにならないようにすることで、世界史の大きな流れについて、より深く理解できている ・タテのつながりを意識しつつも、同時代の横のつながりについても理解することができている ・各国の大きな歴史の流れを、教科書などを見ることも説明することができている ・これまでの学習をふまえて、問題演習を行い、学んだ知識を定着させることができている	・各国史 ・問題演習	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	24
	・経済史や思想史、制度史など、生徒にとって理解しづらいテーマについて、時代の流れの中でまとめて確認することで、世界史についての理解をさらに深めている。 ・これまでの学習をふまえて、問題演習を行い、学んだ知識を定着させることができている	・テーマ史 ・問題演習	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
	・これまでの学習を踏まえ、本校生徒が多く受験する大学の過去問を中心に演習を行い、世界史知識をより定着させることができている ・生徒自身が受験する大学の過去問演習も行う、過去問分析を行うことで、自身の今後の勉強について、計画を立てることができている ・演習と復習を繰り返しながら、苦手分野の克服をすることができている	・過去問演習と解説	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
	・これまでの学習を踏まえ、本校生徒が多く受験する大学の過去問を中心に演習を行い、世界史知識をより定着させることができている ・生徒自身が受験する大学の過去問演習も行う、過去問分析を行うことで、自身の今後の勉強について、計画を立てることができている ・演習と復習を繰り返しながら、苦手分野の克服をすることができている	・過去問演習と解説	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
	定期考査			○	○		
3 学期		授業終了					0
		授業終了					0
		授業終了					0
	定期考査						合計 150

年間授業計画

高等学校 令和7年度 (2学年用) 教科

教科： 公民 科目： 公民
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組
教科担当者： (1組：木村) (2組：木村) (3組：別木) (4組：木村)
(5組：別木) (6組：木村) (7組：木村) (8組：木村)
使用教科書： (高等学校 公共 (清水書院) 最新図説 公共 (浜島書店))
教科 公民

公民 科目 公共

単位数： 2 単位

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

の目標： 人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめることができる。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論できる。

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目	公共	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
現代の諸課題を捉え、考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力がある。	自らが国際社会の中で価値ある国家・社会を形成していく責任を自覚し行動し、その形成に主体的にかかわる存在であること。また国際的な相互依存が進む中で、自らが国際社会の形成者として、自らがよって立つ平和で民主的な国家・社会を維持・発展させることについての日本国民として必要な自覚と資質を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思考を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思考させるとともに、人生における宗教や芸術の持つ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	第1章 公共的な空間をつくる私たち 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 file 1 職業の選択とライフコース 3 哲学の起源と発展 ―ギリシア思想 4 ―神教の教え 東洋の宗教と思想 (1) ―仏教 東洋の宗教と思想 (2) ―儒教 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み file 2 伝統芸能と日本的な美意識	【知識・技能】 ・生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身に付けている。先哲の在り方・生き方について理解を深め、先哲の著した原典資料を適切に活用し、その思想に関する基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自己の内面形成と社会とのかわりに着目させながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。先哲の在り方・生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を認識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にももたらした倫理的課題から、生きることの意義について思考させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	第2章 公共的な空間における人間 1 義務論と功利主義 file 3 思考実験 2 生命倫理 file 4 代議の尊重を認めるべきか 3 環境倫理 file 5 環境を守るために何ができるか	【知識・技能】 ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や科学技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身に付けている。環境に関わる政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、思考実験など概念的枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を捉え、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハバースマスやアレント、ローウェルの政治理論の理解をもとに「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	第3章 公共的な空間における基本的原理 1 近代的人間像の誕生 (1) ―近代の始まり 2 近代的人間像の誕生 (2) ―科学的な思考 3 国家社会と人間性 (1) ―社会契約説 国家社会と人間性 (2) ―ヘーゲルとマルクス 5 国家社会と人間性 (3) ―実存主義 6 公共性の復権と他者についての思考 7 公正な社会と個人―現代の政治思想 file 6 対話の意義	【知識・技能】 ・近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身に付けている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に考えることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいてより多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原則について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義と意義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。	第1章 民主政治の原理 1 近代国家と立憲主義 file 7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file 8 憲法改正について考えよう	【知識・技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に選択し、その基本的な知識を身に付けている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	3
	・日本国憲法の三つの基本原則を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。 ・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を踏まえて、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深める。 ・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	第2章 人権の尊重と日本国憲法 1 日本国憲法の三原則と人権保障 2 平和主義と立憲主義 3 平等権 4 自由権 file 9 多様化する社会の人権① file 10 多様化する社会の人権② 5 社会権 6 参政権の保障と国務請求権 7 新しい人権 file 11 多様化する家族について考えよう 8 グローバル化と国際人権	【知識・技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。憲法の人権保障についての内容や、今日の安全保障をめぐる情勢について理解している。 【思考・判断・表現】 ・憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。また、平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結び付けて関心を高めている。	○	○	○	9
2 学 期	定期考査			○	○		
	・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。 ・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者 (有権者) として社会に関わる意識を高めるさせる。	第1章 民主政治の成立と課題 1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の民主主義と課題 file 12 世界の政治制度 3 世論の形成と民主社会 file 13 情報モラルについて 4 政治参加と主権者 (有権者) 5 選挙と政党 file 14 選挙に行こう！	【知識・技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身に付けている。また、選挙に関する諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身に付け、現状を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。また、国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	6
	・国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の仕組みについて多面的・多角的に考察させる。 ・司法制度の仕組みと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。 ・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。	第2章 日本の政治機構 1 国会の役割と仕組み 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割と仕組み 4 市民生活と司法参加 file 15 判例・更正と死刑制度 5 地方自治と住民の生活 file 16 外国人住民の多い街	【知識・技能】 国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政の仕組み、政治の仕組みについての知識を身に付け、理解している。司法や地方自治についての諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、司法や地方自治についての知識を身に付け、現状を理解している。 【思考・判断・表現】 ・立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を高めている。	○	○	○	6
	・国際社会の資源、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 ・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多面的・多角的に考察する。	第3章 国際政治のしくみと役割 1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 file 17 国際連合の主要機関と課題 3 冷戦とその終焉 4 リージンリズム 5 グローバル化と国家	【知識・技能】 国際社会の基本的な考え方や国際連合などの諸資料を活用して、国際社会のしくみを調べることができる。また、その上で、国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについての知識を身に付け、理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会において幸福、正義、公正の観点から諸問題への見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における主権国家間の関係に関心をもち、国際社会の動向に主体的に考察しようとしている。	○	○	○	7
	・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整と協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。 ・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。	第4章 国際政治の現状と課題 1 現代の紛争 file 18 パレスチナ問題について考えよう 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移住と難民 file 19 難民問題 4 日本の戦後外交と課題 file 20 原爆の記憶とその継承	【知識・技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を身に付け、今日の国際情勢について理解している。 【思考・判断・表現】 ・戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後の国際政治の動向に関心をもち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。	○	○	○	4
定期考査				○	○		

3 学 期	私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。	第1章 私たちと経済活動 1 私たちと経済 file21 消費者の権利と責任 2 仕事と社会 file22 学びの力 3 国民経済とGDP	【知識・技能】 私たちの生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。 【思考・判断・表現】 ・私たちの生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えにちかづけて考察しようとしている。	○	○	○	4
	・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。 ・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。	第2章 経済社会のしくみと役割 1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 file23 需要曲線・供給曲線 file24 経済を考える視点 市場経済の歴史 3 市場の限界 4 金融とそのはたらき 5 財政とそのはたらき file25 日本経済のあゆみ 6 現代の企業 file26 もしも会社をつくるなら file27 公害の防止と環境保全 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性	【知識・技能】 現代の市場、金融、財政などの経済活動の在り方についての学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用している。また、企業や雇用、社会保障などの問題に関する諸資料を分析し、効果的に活用している。市場、金融、財政のしくみについての基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。企業や雇用、社会保障などの現状についての知識を身につけ、その課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。また、企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連させながら考察しようとしている。	○	○	○	10
	・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協定や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。	第3章 国際経済の現状と課題 1 国際取引引きと国際収支 2 自由経済とグローバル化 file28 外国為替と円高・円安 3 国際経済のこれから file29 国際経済と新興国 file30 限りある資源とエネルギー	【知識・技能】 国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、効果的に活用している。また、それを踏まえて国際経済についての基本的な知識を身につけ、その課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際経済に関する諸問題や、国際的な経済協力の必要性、国際社会における日本の経済的役割について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際経済に関する諸問題に関心を高め、国際的な経済協力の必要性や国際社会における日本の経済的役割について考察しようとしている。	○	○	○	4
				○	○		合計
	定期考査			○	○		70

高等学校 令和7年度（3学年用）			教科 公民		科目 政治経済	
教科：公民	科目：政治経済	単位数：2	単位			
対象学年組：第3学年 1組	科 目：8組					
教科担当者：（1組：山中）	（2組：別木）	（3組：山中）	（4組：別木）			
（5組：山中）	（6組：別木）	（7組：別木）	（8組：別木）			
使用教科書：（政治・経済（東京書籍））						
教科 公民	の目標：人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。					
【知識及び技能】						
【思考力、判断力、表現力等】						
【学びに向かう力、人間性等】						

科目 政治経済		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べることにしている。		合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、身につけたり判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論に公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識および技能を養いつつ、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けたり粘り強い学習組みを行おうとしている。また、粘り強い学習組みを行うなかで、自らの学びを調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○民主政治への道のりと現代の民主政治。法と民主政治、基本的人権の確立と国際化。世界のおもな政治体制について理解する。	【現代日本の政治】 ■第1節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 18歳からの社会参加① 18歳になるとできること 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治 5 世界のおもな政治体制	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化。世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「人権」の理解に留意している。 ・「人権」、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「主権の日本政治に取り組み意欲」 ・「現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	6
	○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論。基本的人権の保障と「公共の福祉」。平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。	【現代日本の政治】 ■第2節 日本国憲法の基本原則 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義	【知識・技能】 ・明治憲法と比較した日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。□ 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」				3
	○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを考察する。	【現代日本の政治】 ■第3節 日本の政治機構 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	【知識・技能】 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれが行われた改革に着目し、日本の政治機構にどのような役割があり、どうすればそれを解決できるかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
	○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。	【現代日本の政治】 ■第4節 現代政治の特質と課題 1 戦後政治と変遷 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加 18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて	【知識・技能】 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「主権者である自分はどういう政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
2 学 期	○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。	【現代日本の経済】 ■第1節 現代の資本主義経済 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容	【知識・技能】 ・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義、経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融のしくみや機能について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「経済活動の重要性に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の資本主義経済及び日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	10
	○経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融のしくみや機能について理解する。	■第2節 現代経済のしくみ 1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能 18歳からの社会参加③ ライフプランと金融	【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。 ・「財政のしくみと機能について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
	○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。	【現代日本の経済】 ■第3節 日本経済の発展と現状 1 戦後日本経済の発展 2 日本経済の現状	【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。 ・「財政のしくみと機能について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
	○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたかを考察する。	【現代日本の経済】 ■第4節 戦後日本と日本経済の課題 1 公害と環境保全 2 農業・食料問題 3 中小企業の現状と課題 4 情報化の進展と社会の変化 5 消費者問題 18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて 6 雇用と労働問題 18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える 7 社会保障と福祉	【知識・技能】 ・「公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができうるかを多面的・多角的に考察し、表現している。□ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	10
3 学 期	○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済に関連させて多面的・多角的に考察したり分析したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようになる。	【現代日本の諸課題】 1 少子高齢化における社会保障 2 地域社会の活性化 3 多様な働き方・生き方の実現 4 中小企業の意義と課題 5 日本の財政の健全化 6 持続可能な食料・農産物の実現	【知識・技能】 ・「現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「少子高齢化における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農産物の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済と関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうようしている。」	○	○	○	8
	○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の国際政治に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したりする活動を通して、現代の国際政治に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする意欲を深める。	【現代の国際政治】 ■第1節 国際政治のしくみ 1 国際政治の特質 2 国際社会の組織 3 国際連合の役割と課題 ■第2節 複雑化する国際政治と日本 1 戦後国際関係と日本 2 冷戦後の国際関係と日本	【知識・技能】 ・「国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の成立と課題、第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の成立と課題、第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」				6
	○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本について理解する。	【現代の国際政治】 ■第3節 世界経済の現状と課題 1 Gローバル化する世界経済 2 地球規模の課題 3 資源・エネルギー問題 4 人口・貧困・感染症	【知識・技能】 ・「自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「自由貿易と国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を実現するためにどのような取り組みが必要かを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
	○自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。	【現代の国際政治】 ■第4節 自由貿易と国際分業 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発達途上の経済	【知識・技能】 ・「自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「自由貿易と国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を実現するためにどのような取り組みが必要かを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	4
3 学 期	○貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を実現するためにどのような取り組みが必要かを多面的・多角的に考察し、表現している。	【現代の国際政治】 ■第5節 グローバル化する世界	【知識・技能】 ・「グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球規模の課題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・「地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどういう対応していけばよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。」	○	○	○	5
	○地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどういう対応していけばよいか考察する。						

高等学校 令和7年度 (3学年用)

教科 公民

科目

政治経済演習

教科: 公民

対象学年組: 第 3 学年 1 組～

教科担当者: (1～8組 選択者: 木村)

使用教科書:

(政治・経済 (東京書籍))

教科 公民

の目標:

人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生き

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに

に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論で

きる。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目	政治経済演習	の目標		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に現れる複雑な課題について考察し、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	【現代日本の諸課題】 1 少子高齢社会における社会保障 2 地域社会の活性化 3 多様な働き方・生き方の実現 4 中小企業の意識と課題 5 日本の財政の健全化 6 持続可能な食料・農業の実現	【知識・技能】 ・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意識、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうようしている。	○	○	○	14
	○国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連盟の役割と課題について理解する。 ○国際社会のさまざまな主体やルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているかを考察する。	【現代の国際政治】 ■1 節 国際政治のしくみ 1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題	【知識・技能】 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人権の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。 ○国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいかを考察する。	【現代の国際政治】 ■2 節 複雑化する国際政治と日本 1 戦後国際関係の展開と日本 2 冷戦後の国際関係と日本 3 地域主義の動き 4 軍縮の動向と課題 5 紛争・難民・テロリズム 6 国際社会における日本の役割	【知識・技能】 ・第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	○自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。 ○貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するにはどうすればよいかを考察する。	【現代の国際経済】 ■1 節 国民経済と国際経済 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済	【知識・技能】 ・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	○グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球規模の課題について理解する。 ○地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうにか対処していけばよいかを考察する。	【現代の国際経済】 ■2 節 世界経済の現状と課題 1 グローバル化する世界経済 2 地球環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 人口・貧困・感染症	【知識・技能】 ・グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球規模の課題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうにか対処していけばよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査(授業内)	【現代日本の経済】 ■1 節 現代の資本主義経済 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容	【知識・技能】 ・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義、経済主体の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融・財政のしくみと機能について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・企業、市場経済、国民所得、金融・財政の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済及び日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	18
	○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。 ○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたかを考察する。	【現代日本の経済】 ■3 節 日本経済の発展と現状 1 経済活動の意義 2 日本経済の現状	【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。 ○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるかを考察する。	【現代日本の経済】 ■4 節 福祉社会と日本経済の課題 1 公害と環境保全 2 農業・食料問題 3 中小企業の現状と課題 4 情報化の進展と社会の変化 5 消費者問題 18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて 6 雇用と労働問題 18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える 7 社会保障と福祉	【知識・技能】 ・「公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16
	○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを考察する。	【現代日本の政治】 ■1 節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 18歳からの社会参加① 18歳になるとできること 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
2 学期	○世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを考察する。	【現代日本の政治】 ■1 節 民主政治の基本原則 5 世界のおもな政治体制	【知識・技能】 ・世界のおもな政治体制について理解している。 ・明治憲法と比べて日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを考察する。	【現代日本の政治】 ■2 節 日本国憲法の基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義	【知識・技能】 ・「法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。 ○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にどのような課題があり、どうすればそれらを解決できるかを考察する。	【現代日本の政治】 ■3 節 現代政治の特質と課題 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	【知識・技能】 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にどのような課題があり、どうすればそれらを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	○政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 ○具体的な政策を通して、主権者である自分はどうに政治参加をしていけばよいかを考察する。	【現代日本の政治】 ■4 節 現代政治の特質と課題 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加 18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて	【知識・技能】 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・主権者である自分はどうに政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査(授業内)			○	○	○	

	■青年期の特徴と発達過程、様々な人間関係の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きようとする生き方についての思索を深める。 ・ギンシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における幸せや哀痛のもつ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会における日本人としての自己の在り方生き方について多面的、多角的に考察させる。	1 私たちの人生と社会 2 青年期の心身と課題 file1 職業の選択とライフコース 3 哲学の起源と発展 - ギンシア思想 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想 (1) - 仏教 6 東洋の宗教と思想 (2) - 儒教 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み file2 伝統芸術と日本的美意識	【知識・技能】 生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身に付けている。先哲の在り方・生き方について理解が深め、先哲の著した原典資料を適切に活用し、その思想に関する基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「自己の内面形成と社会とのかわかり」に着目させながら、自己形成の課題について観察し、適切に表現している。先哲の在り方・生き方に触れ考えたこと、その言葉で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る活動らへについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	■カントの思考や功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を認識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点をから、他者との在り方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展によって生じた生命倫理の問題から、生きることに意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	1 義務論と功利主義 2 生命倫理 3 思考実験 file4 代理出席を認めるべきか 3 環境倫理 file5 環境を守るために何ができるか	【知識・技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を理解している。生命科学や医療技術の進展によって生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身に付けている。環境に関与する政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正など」に着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的、多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
3 学期	■経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通じて、自然と人間の関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的、多角的に考察させる。 ・ハーバースやアレント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	■公共的な空間における基本的原理 1 近代的人間論の誕生 (1) - 近代の始まり 2 近代的人間論の誕生 (2) - 科学的な思考 3 国家社会論 (1) - 社会契約説 4 国家社会とヘーゲルとマルクス 5 国家社会と人間性 (3) - 実存主義 6 公共性の復興と他者性についての思考 7 公正な社会と人間性 - 現代の政治思想 file6 対話の意義	【知識・技能】 近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身に付けている。近現代の在り方・生き方に関わる諸資料から、よくよく生きる行為等として活動するために必要な情報を収集し、読者の尊重と尊重、他者の利益と社会の安定性の確保を共に考えることが、公共的な空間を作る上で必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正など」に着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的、多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原則について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	■個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を深める。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。	■民主政治の原理 1 近代国家と立憲主義 2 法の尊厳と法支配 2 日本国憲法の成立 file8 憲法改正について考えよう	【知識・技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関連する歴史資料などに基いて選択し、その基本的な知識を身に付けている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景を踏まえつつ理解している。 【思考・判断・表現】 近代民主主義国家における諸問題を呈出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的、多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	3
	■日本国憲法の3つの基本原則を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。 ・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 ・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	■人権の尊重と日本国憲法 1 日本国憲法の三原則と人権保障 2 平和主義と国際社会 3 平等 4 自由権 file9 多様化する社会の人権① file10 多様化する社会の人権② 5 新しい人権 6 参政権の保障と国際諸請求 7 社会的人権 file11 多様化する家族について考えよう 8 グローバル化と国際人権	【知識・技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権條約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と意義、立憲主義の概念を理解している。憲法上の権利と自由の内容や、今日の安全保障をめぐる情勢について理解している。 【思考・判断・表現】 「憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊厳と基本的人権を考察し、より、権利をめぐって立つ立場を踏まえつつ理解し、考察し、表現している。また、平和主義と今日の安全保障政策の課題の方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえつつ判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 憲法と人権に関する自分自身の生き方と結びつけて考えていっている。国際協調と平和主義を基礎とす日本の安全保障は自己の生き方を結びつけて考える高いものである。	○	○	○	8
							合計
							140